

6/2 県内公立高校(41校)と就職情報交換会を開催

工業会(人材確保委員会)・県高等学校課・県商工政策課 連携

●会員企業21社が参加

本年度の交換会は、昨年度より5社多い21社が参加するなど、学校側また企業側にとっても充実した情報交換会になりました。参加企業が減少傾向でありましたが、初参加の企業も数社あり、この交換会にける意気込みが伝わってきました。

交換会の進め方は、前半に4分の企業プレゼンを行った後、個別面談の流れとなっています。企業プレゼンについては、時間厳守の徹底、また採用状況など共通の発表事項を設定することなどが反省点、課題となりました。



① 企業プレゼン



② 個別面談

(参加企業)

(株)泉井鐵工所 (有)上田電機 (株)栄光工業 (株)エスイージー (株)SKK (株)垣内 兼松Iツヅ コアリツ(株) (有)釜原鋳鋼所 (株)技研製作所 (株)キヨトウ 高知機型工業(株) (株)高知丸高 (株)サヤカ 三恵(株) 新高知重工(株) ツカサ重機(株) (株)特殊製鋼所 (株)土佐電子 ナカムラ精工(株) パシフィックソフトウェア開発(株) (株)ミロク製作所

●企業プレゼンの必要性について

アンケートで企業プレゼンの必要性について調査しました。その結果は以下の通りです。

(学校側) : 36名/37名が必要と回答

(企業側) : 17名/21名が //

※個別面談に時間を集中すべしとの声あり

アンケートからの声

◇プレゼンの必要性について (学校からの声)

- ・企業の特徴が分かった上での方が、こちらも質問事項などを絞り込めるので。
- ・個別面談は時間のロスが多いため、企業プレゼンがあった方が分かりやすく、さらに詳しく個別面談で話しが聞けるため。
- ・各企業の概略を知った後、個別面談で詳しく聞けるのでプレゼンと個別面談の両方あったほうが良い。
- ・短時間だが、参加企業の情報が得られる。
- ・有意義なプレゼンでした。今後、製造業の事務の求人が増えることを願っています。

◇プレゼンの発表内容について (学校側の声)

- ・各企業のアウトライン的なことは調べたらわかる部分でもあるので、採用になってからの内容など、「生徒が就職したら」を重視した内容がもう少しほしかった。
- ◇交換会への全体的な感想・意見等
 - ・何か製品を見せたり、企業見学して、具体的にどのような物をつくっているか知ったほうが理解が深まるのではないかと。
 - ・就職希望者が少なく、大学卒業後にお世話になる機会があると思います。今後ともよろしく願いいたします。

6/9-10 広島県福山市の企業グループ「協和会」と交流

工業会(受注拡大委員会)・産業振興センター 連携

【寄稿】

～ものづくり地産地消・外商センター 外商課 勝賀野 貴博氏～

●地域間を超えた連携をより強固なものに

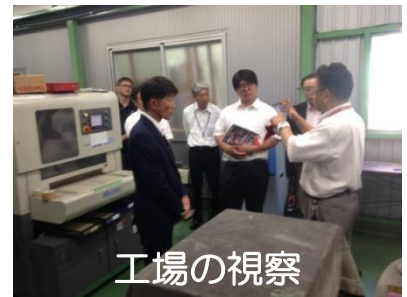
受注拡大委員会と産業振興センターは連携して取引拡大の一環として県外企業グループとの交流に取り組んでいます。

昨年度、協和会を本県にお迎えし開催した交流会に続き、今回は福山市を訪問し、協和会会員企業6社の工場見学や合同懇親会を実施するなど、積極的な意見交換を行いました。同委員会からは8名/8社が参加。

10月に協和会および米子市の企業との交流会の開催を計画するなど、今後も県境を越えたグループ間交流を実施していく予定です。

□協和会の訪問先企業

(有)久保鉄工 (有)ワーカブル 早苗電気(株)
光伸産業(株) 中央精機(株) (有)メタルワーク福山



工場の視察



意見交換

平成29年度 「土佐MBAエグゼクティブコース」が開講

工業会(人材育成委員会) 受講者を支援

●中核人材の育成を支援

委員会では本年度も(次期経営層や経営幹部)の育成支援のため、土佐MBA「エグゼクティブ」コース受講者への支援(受講料の1/2助成)を行います。なお、本年度は委員会の募集に対し4名/4社が受講することになりました。

講義の概要は、「予習」→「講義」→「復習」→「実践」のサイクルが的確に回るように2週間ごとの講義を設定しています。講座は6講座を設定し、最終回は8月31日。

○参画企業

(有)上田電機、日之出産業(株)、高知機型工業(株)、ツカサ重機(株)



6月15日 開講式

7月の行事予定

7	金	高校等就職指導担当者との意見交換会
10	月	高知工業高等学校との意見交換会
11	火	第2回人材育成委員会
12	水	第2回産業間連携委員会
28	金	第3回理事会 県・産振センターとの合同意見交換会

お知らせ

●7/28 県・産業振興センター・工業会 意見交換会

以下の事項を中心に意見交換を行います。

- ① 経営力の強化
 - ② 人材の確保と人材の育成
 - ③ 生産性の向上によるものづくりの地産地消・外商
- ※近日中にご案内いたします。

《編集後記》

情報交換会のプレゼンの必要性について委員会で議論もしたことで、アンケートで確認の意味合いも込めて学校側の声を聞いてみましたが、やはりプレゼンすべし。次回には内容の検討が求められるそうです。県外の企業グループ「協和会」との交流は産振Cと共同の取組みで、グループを核にして福山市の市場を狙ってのもの。翌日はゴルフでさらに交流を深めました。(西内)